

たんぽぽ通信

8月1日発行 198号
 ケアハウス王喜の郷 令和5年8月号

Webページ <http://www.ryokujyukai.jp>

巻頭言

来月9月1日より王喜の郷に新しい事業所が増えます。認知症対応型共同生活介護「グループホーム王喜の郷ライム」です。定員は18名(2ユニット)、場所はケアハウス王喜の郷より徒歩10分程度のところ、スーパーまるきやコスモスのすぐ近くです。新築で木造平屋の建物を建築しました。現在、ケアハウスの食堂横には既存のグループホームが1ユニットありますが、そちらとも共同して運営していく予定です。7月末に引き渡しをうけ、現在開設の準備中です。新しい事業所「ライム」もどうぞよろしくお願いたします。 施設長 末谷千秋

お知らせ

8月のお誕生日&行事予定

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 レトロコンサート	3	4	5
6 広島 平和記念日	7	8 立秋	9	10 イズミ行き	11 山の日	12
13 お盆(～16日)	14	15 終戦記念日	16 ビューティーヘルパー	17	18	19
20	21	22	23 レトロコンサート 処暑	24 イズミ行き	25	26
27	28	29	30	31		

*誕生日:お名前記載の方の誕生日です。ささやかなカードとお菓子をプレゼントさせて頂いております。
 **ビューティーヘルパー:出張の理美容です。食堂白板に申込みを貼っています。ご記名ください。
 ***イズミ行き:午後1時出発、2時半頃帰着。長府ゆめタウンへの買い物バスです。(月に2回)
 ****レトロコンサート:午後1時半～3時 昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。
 ☆第1水曜日はケアハウス食堂・第4水曜日は隣のミントの家。同じ内容です。参加費300円
 *****なの会はお休みさせていただきます。

昭和レトロコンサート

藤山一郎&二葉あき子『夢の競演』

東京音楽学校出身で先輩と後輩になる二人の素晴らしい歌声をお届けします

「長崎の鐘」「フランチェスカの鐘」「水色のワルツ」

日時 八月二日(ケアハウス王喜の郷・食堂)十三時三〇分～十五時

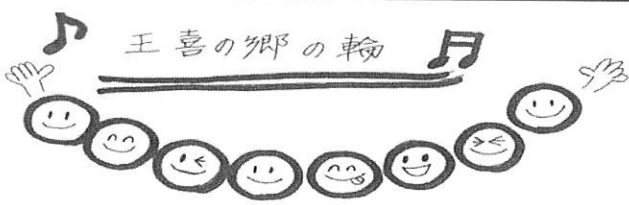
八月二十三日(王喜の郷ミントの家・食堂)十三時三〇分～十五時

♪懐かしいあの時、あの時の思い出が鮮やかに

よみがえるコンサートをお楽しみください!

【会費】 三〇〇円

【お問い合わせ】山根(ミント)中村(ケアハウス)



王喜の郷の輪 第4回
 チャン カイン チンさん (2/3)
 (厨房職員)



毎日、皆さんとたくさんお話をしたので仲良くなりました。仕事の事だけでなく色々なことを教えてもらいました。

例えば日本の料理、すもう、野球、独特な文化等。私の視野は本当に母国から広い世界に飛び出した気がしました。すごく日本に来てよかったと思います。

それに日本語を学べば学ぶほど、漢字の面白さが分かってきました。

母国で学んだのは、ほとんどひらがなとカタカナでした。漢字もあったけど数字や日付などの簡単な漢字ばかりでした。

それに対して、日本に来てから勉強や普段の研修と生活の中に漢字がたくさん出てきて理解しなければなりません。⇒次回へつづく

※手書きの原稿(漢字を含む)を
 チンさんがパソコンで入力しました。

「生誕110年 林伊佐緒を語る」

戦時中、歌手や落語家、漫才師たちは徴兵のみで、出征する事はなく宣撫班として慰問団を結成して中国や満州(現:中国東北部)、南の島々まで戦地の慰問を行いました。その慰問先は決して安全な地域だけを慰問するというものではありませんでした。

昭和18年7月、林伊佐緒も慰問団の一員として神戸港を出港しました。林伊佐緒の他、歌手の松平晃、松竹少女歌劇団の田村淑子、天草みどり、三田照子、浪曲師の天中軒月子、コミックバンドのハットボンボンズのメンバーを加えた総勢20名あまりの一行でした。そのメンバーの中には歌う映画女優として売り出していた若き日の森光子も加わっていました。最初の依頼では3ヶ月のはずだった南方の慰問も伸びに伸びて半年を優に超す長期慰問になりました。船は徴用されていた「太平洋の女王」といわれた日本郵船の豪華客船、浅間丸でした。慰問団一行に詳しい戦局についての話はなく、神戸港は軍港ではないので旅行に行くような気持ちで船出しました。しかし、瀬戸内海を航行中、避難訓練が行われ、「アメリカの潜水艦に狙われたらサイレンを鳴らし船内の電気はすべて消すから、その前に自分の乗るボートと場所を確認しておけ。潜水艦は必ず夜間攻撃をしかけてくる。船はその時は真っ暗だ。大きな歩幅で何歩、小さな歩幅で何歩と体で覚えろ。靴は履いたまま、救命ブイを枕にして寝るように。」広い船内の道順を部屋のドアを開けたら何十歩、それから階段を何十段降りてと体で覚える訓練がおこなわれました。

浅間丸は呉、佐世保へと寄港し、夜に外洋へと出航しました。そして、神戸港を出港して1週間も経たない真夜中の12時をまわった頃、林伊佐緒たち慰問団を乗船させた浅間丸は大地震のような衝撃を受け船内には猛烈なサイレンが鳴り響くのでした。(つづく)

ミントの家 山根 徹

ケアハウス王喜の郷

本格的に、暑い暑い夏がやってきました。
熱中症がとても心配です。

日本各地に、様々な被害をもたらした、今年の梅雨でしたが、ここ下関においては幸いにも大きな被害も少なく、しかしどこで何が起こるかわかりません。

自然の猛威には勝てません。

私は、配食の利用者さんのもとへ、食事を届ける仕事をしています。お宅に伺った際、お元気な姿に接するととても安心します。

毎日、暑い日が続いておりますが、今年は特別に暑いような気がします。私も暑さに負けず、元気に皆様のもとへ食事をお届けしたいと思います。



配食 山田 博

ケアハウス王喜の郷(厨房)

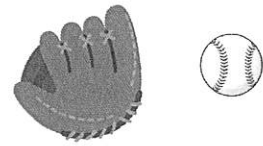
最近、天気予報を見ると「気温が高く危険な暑さです。」とよく聞きます。

確かにとても暑い日が続き、体が「シャキッ」としません。けれどこの暑い中、一生懸命、野球をしている高校球児を見ていると元気をもらえます。

ただでさえ暑いのに、試合の途中で笑ったり、悔しがったりする姿は、私を感動させてくれます。

体が暑さに負けそうになっても、心に力をもらえると気持ちが楽になります。

まだまだ暑い日は続きますが、皆さんも元気をわけてくれた高校球児に負けないように、食事をきちんととり、水分補給をしっかりと、体力をつけ、夏を乗り切りましょう。



厨房 向田 智美

王喜の郷デイサービスセンター

昨年の7月に入社して早いもので1年が過ぎました。初めは利用者様や職員が多く、名前を覚えるだけで一苦労でした。また、施設のシステムも理解出来ず苦難の連続でしたが、利用者様や職員の優しさや温かさで一ヶ月、三ヶ月と続けて行くうちに、「体力が続く限り仕事を続けて行こう」と心に決めて、現在まで頑張ってきました。

5月・7月のお誕生日会では、私のフラメンコやシャンソンを観て頂き、皆様に喜んで頂いた事を大変嬉しく思っています。歌を唄ったり、踊ったりする事は健康にとっても良いので、皆様もどうぞ一緒に参加して下さい。

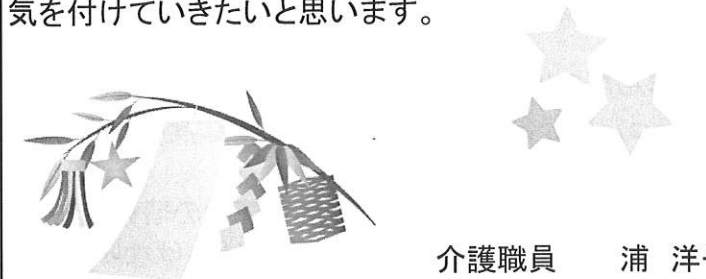


看護職員 高野 早苗

グループホーム王喜の郷

7月7日の七夕飾りでは、皆さん笑顔で飾り付けをされていました。飾りをつけながら、「子供の頃は…」と昔の話や笑い声も聞かれました。

これから暑い夏がきます。9月の終わりまで続きそうですが、水分補給と暑さを和らげる工夫をして夏を乗り越えていきましょう。フロア内では、一人ひとりのペースに合わせた体操や歩行訓練を行っています。外気浴も行っていますが、暑い日は時間を短くし、暑さ対策を図っています。日中、水分をこまめに飲んでいただき、体調管理に気を付けていきたいと思っております。



介護職員 浦 洋子

王喜の郷居宅介護支援センター

私たちは利用者さんが病院を退院されるときに医療相談員さんから情報提供を受け、在宅での支援を多職種と一緒に検討をします。

事例の紹介です。脳梗塞後遺症で左半身に麻痺がありますが物を伝い歩く事はできます。しかし動作の見守りは必要な状態です。入院中に理学療法士さんや作業療法士さんより自宅の環境整備について提案を頂き、それを元に手すりの取り付けや段差解消を行い、自宅の環境を整え退院に備えました。退院され実際に過ごされると、ご本人の意見やご家族の意向により、事業所の方も訪問し何度も改良を行いました。今は一人で移動する事ができるようになられ、ご家族に喜んで頂いております。

これからも、より良い支援ができればと思います。

介護支援専門員 石川ゆかり

王喜の郷ホームヘルプステーションいるか

訪問時、部屋の室温・エアコンの温度・水分補給の確認等をさせていただいております。

冷房は苦手な方やあまり暑くないからと、つけておられない方がいらっしゃいます。また、喉が渇いてないから水分補給されない方がいらっしゃいます。気が付かないうちに熱中症や脱水が起きていることがあります。

窓や戸を開けて風通しをよくしたり、扇風機や冷房をつけて部屋を涼しくしておく、喉の渇きを感じる前に、こまめに水分を摂るように心がけていただけたら予防になります。

暑さが厳しくなっております。何かお困りのことがありましたら、お声かけ下さい。



サービス提供責任者 藤成 舞

王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷

昭和の時代の夏を回想して頂く事を目的に、紙芝居を皆さんに見て頂きました。床漬けの話ではぬか床の作り方、釘を中に入れていた、ぬか床がゆるくなったら炒りぬかを入れるなど話が尽きませんでした。

今、中庭には10cm大の西瓜が3個と葡萄がたわわに実っています。西瓜を見られ「可愛い」と感嘆。葡萄には自分の名前を書いた袋をかけ、収穫を待たれています。どちらも食べられる様になったらいいねと楽しみにされている何気ない日常です。

暑さが続く中、麦茶を冷やしこまめに飲んで頂くよう声をかけお出しし、室温調整に気を配るなど、皆さんの体調や生活リズムが維持できるように配慮しています。

介護職員 吉村 日出子

放課後等デイサービス さくら

七夕には、子どもたちに好きな色の短冊を選んで願い事を書いてもらいました。

クリスマスとイメージが重なり、欲しい物を願う子が多かったです。

夏休みが始まりました。さくらの子どもたちは、暑さをも跳ね飛ばすくらいの元気なパワーを持ち、学習や遊びに取り組んでいます。水分補給をしっかりと行い、熱中症対策に気を配りながら子どもたちの支援をしていきたいと思っております。



さくら支援員 松下 美由紀